

Dell Storage Center SCv2080 ストレージシステム はじめに

規制モデル： E11J
規制タイプ： E11J001



メモ、注意、警告



メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。



警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2016 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2016 - 12

Rev. A00

ストレージシステムのセットアップ

SCv2080 ストレージシステムをセットアップする場合は、以下のベストプラクティスを考慮してください。

- Dell では、Fibre Channel または iSCSI ストレージシステムを使用したデータ転送に、専用 SAN ネットワークを使用することをお勧めします。
- ストレージシステムの設定前に、このガイドにあるワークシートにシステム情報を記入します。
- データパスの一つに障害が発生した場合にホストサーバーに対するパスを提供するため、常に冗長データパスを設定するようにしてください。
- ストレージシステムとホストサーバーまたは拡張エンクロージャの間のケーブル接続を行う前に、各ポートおよびコネクタにラベルを貼っておきます。
- ネットワーク全体でパワーサイクルを実行する場合は、常に正しい電源投入および電源切断手順に従うようにしてください。重要なネットワークコンポーネントが個別の電源回路に設定されていることを確認してください。



メモ: この製品は、専用の設備室や機器クローゼットなどの、アクセスが制限されている場所で使用することを想定されています。



警告: 密閉型ラックアセンブリまたはマルチユニットラックアセンブリに設置した場合、ラック環境内の動中周囲温度が室温を上回ることがあります。このため、製造元の指定する最高周囲温度（T_{ma}）に適合する環境に機器を設置できるような考慮が必要となります。

安全上の警告



重量警告

完全構成済みの SCv2080 ストレージシステムの重量は最大 130 kg (287 ポンド) です。空のストレージシステムの重量は 62 kg (137 ポンド) です。このストレージシステムを取り付けるときは、適切な持ち上げ手法を使用してください。





高温警告

ストレージシステムのドロワー内部の動作温度は、最大 60°C (140°F) に達する場合があります。ドロワーを開けてドライブキャリアを取り外すときは、十分注意してください。



電気接続の取り外し

続行する前に、ストレージシステムに対するすべての電源供給接続を外す必要があることを示します。



バッテリーパックの警告

バッテリーパックは、ストレージシステムからストレージコントローラを取り外す前に取り外してください。

⚠ 警告: 互換性のないバッテリーを取り付けると、火災または爆発を引き起こす可能性が高くなります。以下の点に注意してください。

- 交換用のバッテリーには、工場出荷時のバッテリーと同等以上のバッテリーのみを使用してください。
- バッテリーを開けたり、修理を試みたりしないでください。バッテリーを火中に投げたり、家庭ごみとして捨てたりしないでください。バッテリーの廃棄場所については、各自治体の廃棄物処理業者に問い合わせてください。

Fibre Channel ストレージシステムのレーザー放射



⚠ **注意: 開くとクラス I レーザーが放射されます。レーザー光線への曝露は避けてください。**

⚠ **警告: レーザー放射。レーザー光線への直接曝露は避けてください。**

本ユニットは、米国では DHHS 21 CFR 第 1 章、J 項 クラス I (1) レーザー製品の要件を満たすものとして認証され、その他の国々では IEC 60825-1:2007 の要件に準拠する Class I レーザー製品として認証されています。

クラス I レーザー製品は、危険とはみなされていません。レーザーシステムおよびユニットは、通常動作やユーザーメンテナンス中、または指定された保守条件下においてクラス I レベルを超えるレーザー放射への人体のアクセスがないことを前提に設計されています。

システム情報の記録のためのワークシート

以下のワークシートを使用して、SCv2080 ストレージシステムをインストールするために必要な情報を記録します。

Storage Center 情報

Storage Center ネットワークおよび管理者ユーザーについての次の情報を集めて記録します。

表 1. Storage Center ネットワーク

Service Tag (サービスタグ)	-----
管理 IPv4 アドレス (Storage Center 管理アドレス)	-----
左側のコントローラ IPv4 アドレス (コントローラ 1 MGMT ポート)	-----
右側のコントローラ IPv4 アドレス (コントローラ 2 MGMT ポート)	-----
サブネットマスク	-----
ゲートウェイ IPv4 アドレス	-----
ドメイン名	-----
DNS サーバーアドレス	-----
セカンダリ DNS サーバーアドレス	-----

表 2. Storage Center 管理者

デフォルト Storage Center「管理者」ユーザーのパスワード	-----
デフォルト Storage Center「管理者」ユーザーの電子メールアドレス	-----



iSCSI フォールトドメイン情報

iSCSI フロントエンドポートのあるストレージシステムについて、iSCSI フォールトドメインのネットワーク情報を収集し、記録します。この情報は、**初期化されていない SCv2000 Series Storage Center の検出と設定** ウィザードを完了するために必要です。



メモ: 2 つのイーサネットスイッチを使用して導入されたストレージシステムについて、**Dell は各フォールトドメインを別々のサブネット上に設定することをお勧めします。**

iSCSI フォールトドメインの設定については、『*Dell Storage Center SCv2080 Storage System Deployment Guide (Dell Storage Center SCv2080 ストレージシステム導入ガイド)*』(Storage Center 12 ドライブおよび 24 ドライブストレージシステム導入ガイド) を参照してください。

表 3. iSCSI フォールトドメイン 1

ターゲット IPv4 アドレス	-----
サブネットマスク	-----
ゲートウェイ IPv4 アドレス	-----
ストレージコントローラモジュール 1、ポート 1 の IPv4 アドレス	-----
ストレージコントローラモジュール 2、ポート 1 の IPv4 アドレス	-----
(4 ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラモジュール 1、 ポート 3 の IPv4 アドレス	-----
(4 ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラモジュール 2、 ポート 3 の IPv4 アドレス	-----

表 4. iSCSI フォールトドメイン 2

ターゲット IPv4 アドレス	-----
サブネットマスク	-----
ゲートウェイ IPv4 アドレス	-----
ストレージコントローラモジュール 1、ポート 2 の IPv4 アドレス	-----
ストレージコントローラモジュール 2、ポート 2 の IPv4 アドレス	-----

(4ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラモジュール 1、 _____
ポート 4 の IPv4 アドレス

(4ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラモジュール 2、 _____
ポート 4 の IPv4 アドレス

その他の Storage Center 情報

Network Time Protocol (NTP) および Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) サーバの情報の入力 は任意です。プロキシサーバの情報も任意ですが、**初期化されていない SCv2000 Series Storage Center の検出と設定** ウィザードを完了するために必要な場合があります。

表 5. NTP、SMTP、およびプロキシサーバー

NTP サーバー IPv4 アドレス	_____
SMTP サーバー IPv4 アドレス	_____
プライマリ SMTP サーバー IPv4 アドレス	_____
SMTP サーバーのログイン ID	_____
SMTP サーバーのパスワード	_____
プロキシサーバー IPv4 アドレス	_____

Fibre Channel ゾーニング情報

Fibre Channel フロントエンドポートのあるストレージシステムについて、フォールトドメイン 1 およびフォールトドメイン 2 にある Fibre Channel ポートの物理および仮想 WWN を記録します。この情報は、**初期化されていない SCv2000 Series Storage Center の検出と設定** ウィザードの **フロントエンドの確認** ページに表示されます。この情報を使用して、各 Fibre Channel スイッチのゾーニングを設定します。

Fibre Channel のゾーニングの設定については、『*Dell Storage Center SCv2080 Storage System Deployment Guide (Dell Storage Center SCv2080 ストレージシステム導入ガイド)*』(Storage Center 12 ドライブおよび 24 ドライブストレージシステム導入ガイド) を参照してください。



表 6. フォールトドメイン 1 内の物理 WWN

ストレージコントローラ 1、ポート 1 の物理 WWN	-----
ストレージコントローラ 2、ポート 1 の物理 WWN	-----
(4 ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラ 1、ポート 3 の物理 WWN	-----
(4 ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラ 2、ポート 3 の物理 WWN	-----

表 7. フォールトドメイン 1 内の仮想 WWN

ストレージコントローラ 1、ポート 1 の仮想 WWN	-----
ストレージコントローラ 2、ポート 1 の仮想 WWN	-----
(4 ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラ 1、ポート 3 の仮想 WWN	-----
(4 ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラ 2、ポート 3 の仮想 WWN	-----

表 8. フォールトドメイン 2 内の物理 WWN

ストレージコントローラ 1、ポート 2 の物理 WWN	-----
ストレージコントローラ 2、ポート 2 の物理 WWN	-----
(4 ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラ 1、ポート 4 の物理 WWN	-----
(4 ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラ 2、ポート 4 の物理 WWN	-----

表 9. フォールトドメイン 2 内の仮想 WWN

ストレージコントローラ 1、ポート 2 の仮想 WWN	-----
ストレージコントローラ 2、ポート 2 の仮想 WWN	-----
(4 ポート I/O カードのみ) ストレージコントローラ 1、ポート 4 の仮想 WWN	-----



(4ポート I/O カードのみ)ストレージコントローラ 2、ポート 4 の _____
仮想 WWN

サービスタグの位置

ストレージシステムは固有のサービスタグおよびエクスプレスサービスコードで識別されます。
サービスタグは、ストレージシステムシャーシの背面にあります。Dell はこの情報を使用して、サポートのお問い合わせ電話を適切な担当者に転送します。

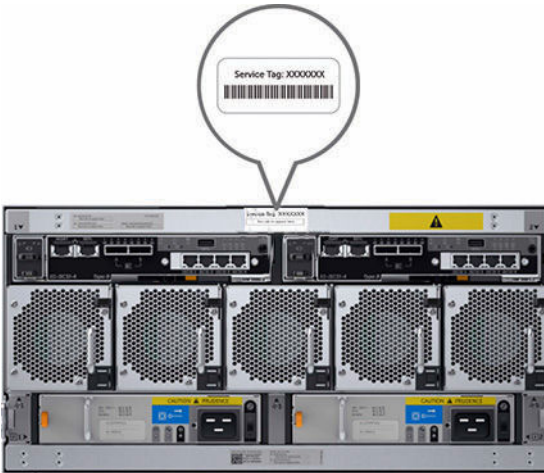


図 1. サービスタグの場所

その他の情報

ストレージシステムを取り付けるには、次の追加情報が必要となる可能性があります。

 **メモ: Storage Center コンポーネントに同梱されている、安全および認可機能に関する情報を参照してください。保証情報は、別の文書に掲載されています。**

- 『『Dell Storage Center SCv2080 Storage System Deployment Guide(Dell Storage Center SCv2080 ストレージシステム導入ガイド)』(Dell Storage Center SC7020 ストレージシステム導入ガイド)は、ストレージシステムのハードウェアコンポーネントのケーブル配線と、Dell Storage Manager Client を使用した新規のストレージシステムの設定に関する情報を説明しています。



- 『Dell Storage Manager Storage Center Administrator's Guide』(Dell Storage Manager Storage Center 管理者ガイド) は、Dell Storage Manager Client を使用して Storage Center を管理する方法を説明しています。
- 『Dell Storage Manager Administrator's Guide』(Dell Storage Manager 管理者ガイド) は、Dell Storage Manager を使用して複数の Storage Center システムを管理する方法を説明しています。

取り付けと設定

取り付け作業を開始する前に、ストレージシステムを取り付ける場所に、独立した電源から、または UPS 搭載のラック配電ユニットからの 208V 電力が備わっていることを確認します (110V 電力はサポートされません)。

さらに、ラックの下側の 20U の中に、ストレージシステムを取り付けるための 5U のスペースがあることを確認します。ラックの下側の 20U より上側にストレージシステムの取り付けを計画する場合は、けがを防止するため機械式リフトを使用する必要があります (機械式リフトはお客様が用意してください)。

安全に関する注意事項

けがを 방지、Storage Center 機器への損傷を避けるため、常にこれらの安全に関する注意事項に従ってください。

本項で説明されている機器を Dell が指定する以外の方法で使用した場合、機器によって提供される保護機能が損なわれることがあります。お客様の安全と保護のため、以下の項に説明されているルールをお守りください。



メモ: 各 Storage Center コンポーネントに同梱の、安全および認可機関に関する情報を参照してください。保証情報は、本書に含まれている場合と、別の文書として付属する場合とがあります。

取り付け時の安全に関する注意事項

以下の安全に関する注意事項に従ってください。

- Dell では、ラックへの SCv2080 の取り付けは、ラック取り付けの経験者のみが行うことを推奨しています。
- 配送ボックスからのストレージシステムのシャーシの持ち上げは少なくとも 2 人、ラック内への取り付けは 3 人で行う必要があります。空のシャーシの重量は約 62 kg (137 ポンド) です。
- 静電気放出による損傷を防ぐため、ストレージシステムが常に完全に接地されていることを確認してください。

- ストレージシステムハードウェアを取り扱うときは、静電気防止用のリストバンド（同梱されていません）、または同様の保護用具を使用してください。

シャーシはラック内に取り付ける必要があります。シャーシを取り付ける時には次の安全要件を考慮してください。

- ラックの構造は、取り付けられたシャーシの総重量をサポートする必要があります。その設計には取り付け時や通常使用時にラックが傾いたり、押し倒されたりすることを防ぐ、固定機能が組み込まれているようにしてください。
- ラックが倒れる危険を回避するため、ラックから引き出すシャーシは、一度につき 1 台のみにしてください。
- ストレージシステムは、低圧の背面排気装置を装備した状態で操作する必要があります [ラックドアと障害物によって生じる背圧は、5 パスカル (0.5 mm ウォーターゲージ) を超過しないようにしてください]。

Storage Center 機器の開梱

ストレージシステムを開梱して、同梱されている物品を確認します。

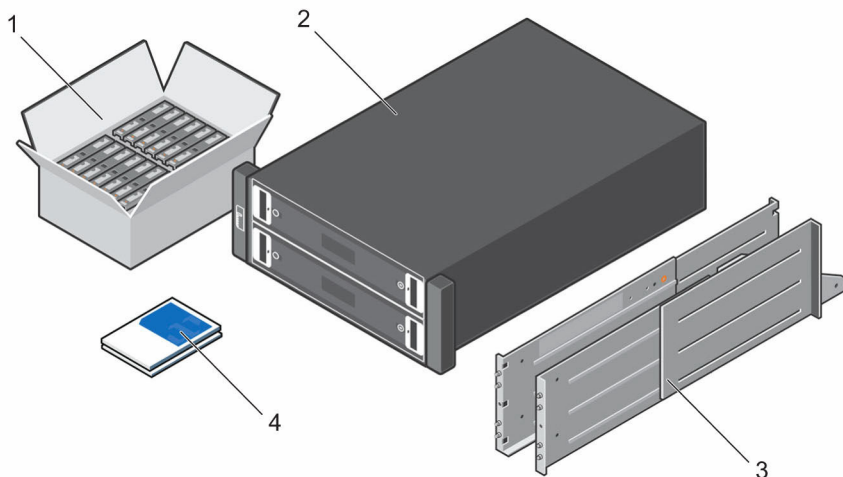



図 2. SCv2080 ストレージシステムコンポーネント


- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. ハードドライブ | 2. ストレージシステム |
| 3. ラックレール (2) | 4. マニュアル |



 **警告:** ストレージシステムを持ち上げる際に怪我を避けるには、持ち上げ用ベルトを使用して、2人で作業をしてください。


ラックへのストレージシステムの取り付け

SCv2080 ストレージシステムおよびラック内の他の Storage Center システムコンポーネントを取り付けます。

 **メモ:** ストレージシステムを、ラック内で拡張可能なように、ラック上段側が重くならないようにラックに載せます。

 **警告:** ストレージシステムを 20U ラック下段側よりも上に取り付ける場合、怪我を防止するためにお客様側で吊り上げ用の機器を用意してください。

1. ストレージシステムをラックに取り付ける位置を決定し、ラックの前部および後部にその位置の印を付けます。

 **メモ:** ストレージシステムと拡張エンクロージャの取り付けには、それぞれ 5U のラックスペースが必要です。

2. 印を付けた位置にレールを揃え、レールを引き出してラックに合わせます。
3. レールキットに同梱の安全上の注意事項およびラックへの取り付け手順に従って、ラックにシェルフおよびレールを取り付けます。

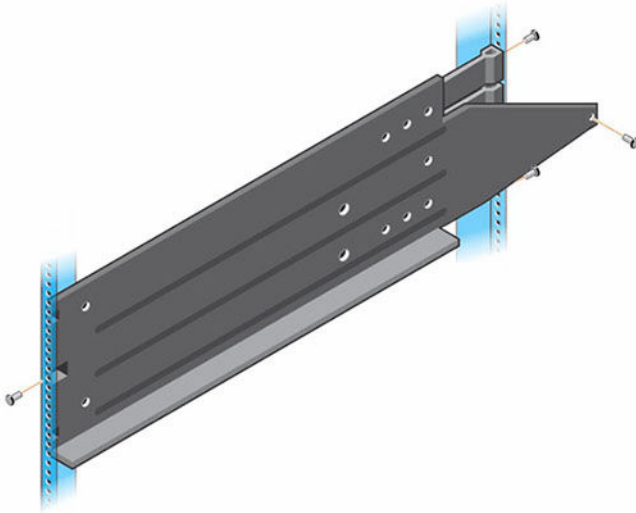


図 3. ラックへのマウントレールの取り付け

4. ストレージシステムシャーシを、アレイの背面が背面ホルドダウンブラケットを通り過ぎるまでレール上に挿入します。

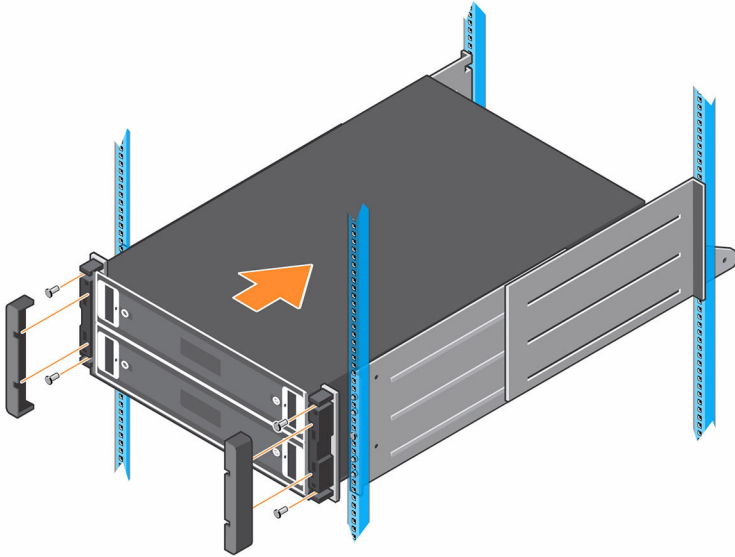


図 4. SCv2080 ストレージシステムシャーシのマウント


5. 取り付けネジを使用して、ストレージシステムシャーシをレールに固定し、背面のホルダダウンブラケットをボルトでシャーシに固定します。
6. ストレージシステムシャーシの前面の左側および右側にプラスチック製のカバーを取り付けます。
ストレージシステム取り付けの詳細については、『『Dell Storage Center SCv2080 Storage System Deployment Guide (Dell Storage Center SCv2080 ストレージシステム導入ガイド)』(Dell Storage Center SCv2000/SCv2020 ストレージシステム導入ガイド) を参照してください。
7. Storage Center システムに拡張エンクロージャが含まれている場合は、ストレージシステムの上に拡張エンクロージャをマウントします。拡張エンクロージャの取り付けの詳細については、拡張エンクロージャに付属の『Getting Started Guide』(はじめに) を参照してください。

ハードドライブの取り付け

ハードドライブは、Disk Drive in Carrier (DDIC) ハードドライブキャリアを使用して、ドロワーのバックプレーンに接続されます。


SCv2080 ストレージシステムの最小のドライブ数は 28 で、上部ドロワーの前 1 列と、下部ドロワーの前 1 列がすべて埋まった状態です。各列には同じドライブを配置します。1 つの列内に異なるタイプ、速度、またはサイズを混在させないでください。

1. 上部ドロワーを開きます。

 **注意:** ドロワーを開いたままストレージシステムを長時間（高度に応じて異なります）稼働させると、ストレージシステムが過熱状態になり、電力障害およびデータ損失を引き起こす可能性があります。このような使用では、保証が無効になる場合があります。

- a. 両方のドロワーラッチをディスクドロワーの中央に向かって押したままにします。
- b. ドロワーが止まる位置までドロワーを引き出します。

2. 最初の列に 14 台のドライブを取り付けます。キャリア内のディスクドライブ（DDIC）を、1 度に 1 台ずつドロワーに挿入します。

 **注意:** 適切な通気を維持するため、ドロワーのすべての列が埋められる必要があります（ドロワーごとに 14 ドライブの列が 3 列あります）。

- a. DDIC を垂直に持ち、その大部分をスロット内に差し込みます。
- b. 両手を使って DDIC 全体に均等に力をかけ、しっかりと押し下げます。
- c. DDIC を押し下げながら、上部プレートをドロワー後部に向かって所定の位置にカチッと収まるまでスライドさせます。



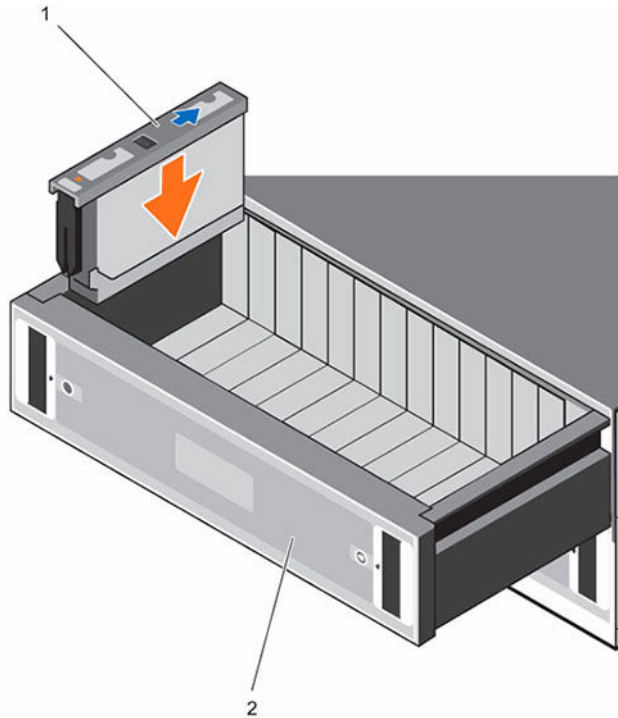


図 5. ドrawerへの DDIC の取り付け

1. DDIC

2. 上部ドrawer

△ 注意: DDIC がラッチしない場合は、使用せずに Dell Technical Support に部品の交換を要請してください。閉じたドrawer内で不具合のある DDIC のラッチが外れると、ドrawerを開けることができなくなります。

3. DDIC の挿入後、ドrawerを閉じます。
 - a. ドrawer両側のランナー沿いの中ほどにある 2 つのロックリリースボタンを見つけます。
 - b. ロックリリースボタンを内側に向かって押し、体全体を使って、ロックが解除されるまでドrawerをシャーシに向かって押し入れます。
 - c. 前面ベゼルに手を置いて、ベゼルとシャーシが平らに揃い、前面ドrawerのロックがはめ込まれるまで、引き続きドrawerをシャーシ内に押し入れます。

△ 警告: ドrawerを閉じるときは、シャーシから指を離してください。

4. 下部ドrawerで前のステップを繰り返します。最初の列に 14 台のドライブを取り付けます。

5. 適切な通気を維持するには、次の順序で残りの列を埋めます。
 - a. 上部ドローワーの中央の列
 - b. 下部ドローワーの中央の列
 - c. 上部ドローワーの背面の列
 - d. 下部ドローワーの背面の列

電源ケーブルの接続

ストレージシステムに電源ケーブルを接続します。

1. 電源ケーブルを接続する前に、ストレージシステムの電源スイッチがオフの位置にあることを確認します。
2. 電源ケーブルをストレージシステムのシャーシ内にある電源装置に接続します。

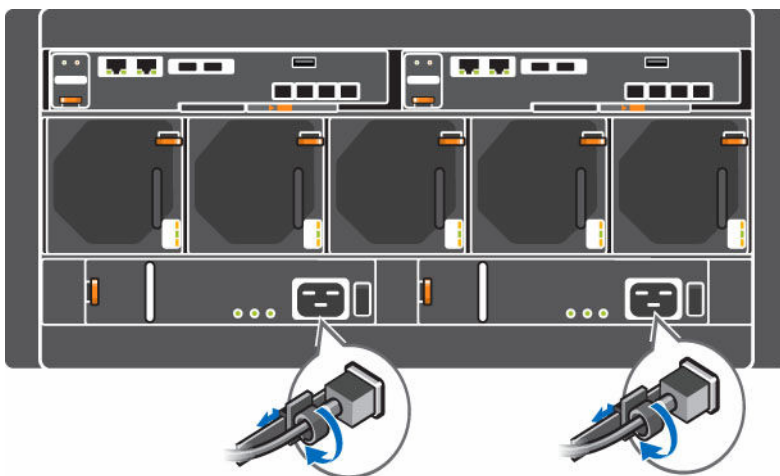


図 6. 電源ケーブル

3. それぞれの電源ケーブルを、ストレーンリリーフファスナーを使用して、ストレージシステムのシャーシに固定します。
4. 電源ケーブルのもう一方の端をアースされた電源コンセントまたは UPS (無停電電源装置) や配電装置 (PDU) などの電源に接続します。

△ **注意:** ラックの中には十分な奥行きがないものもあるため、背面ラックドアを閉じるときは注意を払い、電源コードに十分なスペースがあることを確認するようにしてください。



NOM 情報 (メキシコのみ)

以下は、メキシコの公式規格 (NOM) の仕様に準拠する、本書で取り上げている装置に関する情報です。

輸入者	Dell Inc. de México, S.A. de C.V Paseo de la Reforma 2620-11 º Piso Col. Lomas Atlas 11950 México, D.F.
Model number (モデル番号)	E11J
供給電圧	200-240 VAC
頻度	50/60 Hz
消費電流	16 A

技術仕様

次の表は、SCv2080 ストレージシステムの技術仕様を示したものです。

ドライブ

SAS ハードドライブ 最大 84 台の 3.5 インチ SAS ホットスワップ対応ハードドライブ(6.0 Gbps)

ストレージコントローラ

ストレージコントローラ 次の IO オプションを備えた 2 台のホットスワップ対応ストレージコントローラ

- 16 Gbps Fibre Channel ポート ×2
- 8 Gbps Fibre Channel ポート ×4
- 10 Gbps iSCSI ポート ×2
- 1 Gbps iSCSI ポート ×4
- 12 Gbps SAS ポート ×4



ストレージ接続性

構成	Storage Center は、1つの冗長パスの SAS チェーン上に最大 168 台のドライブをサポートします。 SCv2080 ストレージシステムは、1台の SC180 をサポートします。
----	--

RAID (Redundant Array of Independent Disks)

コントローラ	ホットスワップ対応のストレージコントローラ、2 台
管理	Dell Storage Manager Client 2016 R2 を使用した RAID 管理

背面パネルポートコネクタ (ストレージコントローラごと)

Fibre Channel、 iSCSI、または SAS コネクタ	Fibre Channel ファブリック、iSCSI ネットワークへの接続、または SAS HBA を搭載したサーバーへの直接接続
Ethernet コネクタ	MGMT : Storage Center 管理に通常使用される 1 Gbps または 10 Gbps 組み込み Ethernet/iSCSI ポート REPL : 別の Storage Center へのレプリケーションに通常使用される 1 Gbps または 10 Gbps 組み込み iSCSI ポート
SAS コネクタ	SAS ポート冗長性および追加拡張エンクロージャ用の 6 Gbps SAS コネクタ  メモ: SAS コネクタは SFF-8086/SFF-8088 に準拠しています。
USB コネクタ	Storage Center アップデート用の USB 3.0 コネクタ、1 個
シリアルコネクタ	 メモ: お客様向けではありません。

LED インジケータ

前面パネル	<ul style="list-style-type: none">• ユニット ID、エラーコード、およびユニット位置識別子用の 2 桁の LCD インジケータ、1 個• 電源ステータス用の 2 色 LED インジケータ、1 個• モジュール障害ステータス (エンクロージャ全体として) 用の単色 LED インジケータ、1 個
-------	--



LED インジケータ

- 論理障害ステータス (ドライブ、HBA、RAID コントローラなど) 用の単色 LED インジケータ、1 個
 - ドロワー 1 障害ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
 - ドロワー 2 障害ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
- ドロワー
- サイドプレーンカードおよび電源ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
 - ドロワー障害ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
 - 論理障害ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
 - ケーブル障害ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
 - データ転送ステータス用の単色 LED インジケータ、6 個
- キャリア内ディスクドライブ (DDIC)
- ドライブ障害ステータス用の単色 LED、1 個
- 6 Gb SAS IO モジュール
- 単色 LED ステータスインジケータ、14 個 (3 個の SAS ポートそれぞれに 4 個ずつ、およびモジュールステータス用に 2 個)
- 冷却モジュール
- モジュールステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
 - バッテリ障害ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個 (現在は使用されていません)
 - ファン障害ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
- 電源装置ユニット (PSU)
- PSU 障害ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
 - AC 電源障害ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個
 - 電源ステータス用の単色 LED インジケータ、1 個

電源装置

AC 電源装置 (各電源装置ごと)

ワット数	2.8 kW
電圧	200 ~ 240 VAC (16 A)
熱消費	191 ~ 147 W
入力周波数	50/60 Hz
最大入力電力	1791 VA

電源装置

入力電流 7.4 A@241 VAC

最大突入電流 通常のラインコンディションのもと、システムの動作環境全範囲で、電源装置 1 台につき 10 ミリ秒以下で 55 A の入電量を許容

使用可能なハードディスクドライブ電力 (スロットごと)

サポートされているハ +5 V で最大 1.16 A

ードディスクドライブ消 +12 V で最大 1.6 A
費電力 (連続)

I/O カード電力 (各スロットごと)

I/O カードによる最大 +12 V で 11 W
消費電力

最大供給可能電力 +12 V で 100 W

最小供給可能電力 +5 V で 1 W (スタンバイ)

物理的仕様

高さ 22.23 cm (8.8 インチ)

幅 48.26 cm (19 インチ)

奥行き (前面取り付 91.44 cm (36 インチ)
けブラケットから背
面)

奥行き (前面から背 96 cm (38 インチ)
面)

重量 (最大構成) 130.1 kg (287 ポンド)

ドライブなしでの重量 62.1 kg (137 ポンド)




環境

特定のストレージシステム構成における環境測定値の詳細については、dell.com/environmental_datasheets を参照してください。

温度

動作時 1 時間あたり最大 20 °C の温度変化で 10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F)

 **メモ: 最高温度 35 °C は、標高 950 m (3,117 フィート) を超えると、300 m ごとに 1 °C (547 フィートあたり 1 °F) 低下します。**

保管時 最大高度 12,000 m (39,370 フィート) で -40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)

相対湿度

動作時 最大露点 26 °C (78.8 °F) で 10 ~ 80% (結露しないこと)

保管時 最大露点 33°C (91°F) で 5 ~ 95% (結露しないこと)

最大振動

動作時 15 分間にわたり 5 ~ 500 Hz で 0.21 G

保管時 15 分間にわたり 2 ~ 200 Hz で 1.04 G

最大衝撃

動作時 パルス持続時間 10 ms +/- 10 % で半正弦波衝撃 5 G +/- 5 % (可動方向のみ)

保管時

- **Z 軸** : 30 G 10 ミリ秒の半正弦波
- **X 軸および Y 軸** : 20 G 10 ミリ秒の半正弦波

高度

動作時 0 ~ 3,048 m (0 ~ 10,000 フィート)

保管時 -300 ~ 12,000 m (-1000 ~ 39,370 フィート)

空気汚染物質レベル

クラス G2 またはそれ未満 (ISA-S71.04-1985 の定義による)